

VIII 日本海学

日本海学の推進

1 日本海学の概要

日本海学は、日本海とその周辺及び関連地域全体を、生命の源である海を共有する一つのまとまりとしてとらえ、海との関わりを軸にその自然・文化・歴史・経済などを総合的に研究し、新たな領域を創造するとともに、地域間の交流を促進し生命の輝きが増す未来を構想する取り組みです。

2 推進体制

日本海学を国内外に普及・推進していくため、平成15年2月10日に公益財団法人とやま国際センター（当時は財団法人とやま国際センター）内に、日本海学推進機構を設立しました。

同機構の運営委員には、秋道智彌山梨県立富士山世界遺産センター所長や武田佐知子大阪大学名誉教授など斯界の一流の研究者に就任いただき、また、専門委員には、沖大幹東京大学大学院工学系研究科教授や西村幸夫國學院大學観光まちづくり学部長・教授などに就任いただいています。

3 令和5年度事業実績

(1) 日本海学シンポジウムの開催

開催日	場 所	内 容（講師敬称略・役職は開催時）
令和6年 2月4日(日)	富山市 北日本新聞 ホール	【テーマ】「発酵食の恵みと日本海」 【基調講演】「和食の中の発酵食品」 佐藤 洋一郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム館長） 【パネルディスカッション】 「発酵食の恵みと日本海」 コーディネーター 秋道 智彌（日本海学推進機構会長） パネリスト 佐藤 洋一郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム館長） 江頭 宏明（山形大学農学部教授） 関野 伸也（庄右衛門元祖関野屋7代目）

(2) 日本海学講座の開催

講 座 名	講 師（敬称略）	開 催 日・会 場
新聞社説の特徴からみる 港を活用した 日本海沿岸地域の 地域づくりの視点	富山短期大学 経営情報学科講師 長田 元 氏	令和5年 8月12日(土) 14:00～15:30 県民会館701号室
高志と出雲 再考	富山大学学術研究部 人文科学系教授 鈴木 景二 氏	令和5年 10月21日(土) 14:00～15:30 県民会館701号室
日本海がもたらす 北陸の多様な降水	富山大学学術研究部 都市デザイン学系准教授 濱田 篤 氏	令和5年 11月11日(土) 10:00～11:30 県民会館701号室
方言から見えてくる 富山県の特徴	同志社女子大学 表象文化学部 日本語日本文学科教授 中井 精一 氏	令和5年 12月9日(土) 14:00～15:30 高岡市生涯学習センター503研修室

(3) 富山湾の魅力体験親子教室の開催

富山高等専門学校練習船「若潮丸」に乗船し、富山湾上で、富山湾の自然や生態系について親子で学ぶ体験教室を開講しました。

- ・対象 小・中学生の親子
- ・日時 令和5年7月29日(土)

(4) 大学講座推進事業

日本海学の認知度を高め、より一層普及を図っていくため、県内の大学において日本海学講座を開設しました。

大学名	科目名・テーマ	講師	開催時期
① 富山大学 (大学の正規授業)	総合科目特殊講義 「日本海学」	富山大学教員 富山高等専門学校教員 県外大学教員	後期
② 富山県立大学 (大学の正規授業)	「富山と日本海」 「環境論Ⅰ」	富山大学教員 県内研究者	前期
③ 富山国際大学 (大学の正規授業)	「環境デザイン特別講義」	県内研究者	後期

(5) 出版物

日本海学の普及活動の一環として、平成13年から28冊の「日本海学叢書」を刊行してきました。令和5年度は、地域交通史研究家、草卓人氏に依頼し「富山の近代化と鉄道 ―地域鉄道の成立と変遷をめぐる―」というタイトルのもと、富山における鉄道の成立と変遷、それに伴う近代化を題材に制作、刊行しました。

(6) 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

富山大学研究推進機構サステナビリティ国際研究センターが行う「気候変動下における北東アジアの経済発展と環境保全」をテーマとする調査研究活動に助成し、その成果を広く県民に紹介しました。「持続可能な地域の森林資源の利用：富山県の挑戦」と題して、国内外の研究者を交えたシンポジウムを開催しました。

(7) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学の研究・普及活動の裾野を広げるため、地域に根ざした研究を行おうとする個人・グループに対し、研究活動や論文の作成等に要する経費に対し助成しました。

4 令和6年度事業計画

(1) 日本海学シンポジウム

日本海学の中心的な事業として、日本海学に関する重要なテーマをとりあげ、シンポジウムを開催します。

(2) 日本海学講座

県民が日本海及び環日本海地域に関する事象について理解を深めるための講座を日本海学推進の基礎的事業として開催します。

(3) 富山湾の魅力体験親子教室

「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した神秘の海・富山湾の魅力や不思議を親子で学習する体験教室を開催し、若い世代に富山湾の魅力を伝える教室を開催する。

開催日時：7月27日（土）

(4) 大学講座推進事業

大学名	科目名・テーマ	講師	開催時期
① 富山大学 (大学の正規授業)	総合科目特殊講義 「日本海学」	富山大学教員 富山高等専門学校教員 県外大学教員	後期
② 富山県立大学 (大学の正規授業)	「富山と日本海」	県内研究者	前期
③ 富山国際大学 (大学の正規授業)	「環境デザイン特別講義」	県内研究者	後期

(5) 出版物

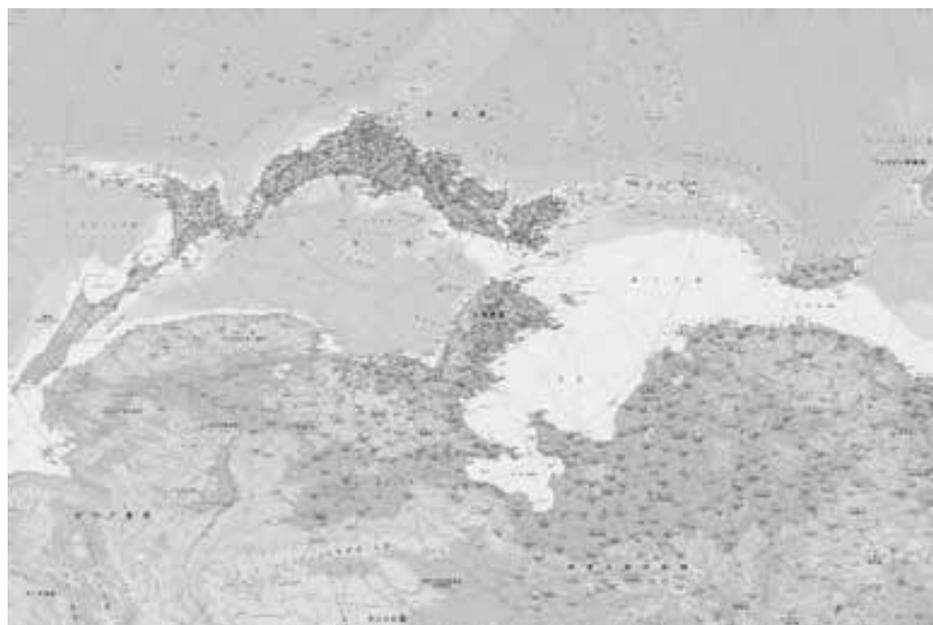
日本海学の研究調査活動は、大学や研究機関との連携から草の根の研究グループまで幅広い広がりを見せてきています。この中から優れた内容のものを精選して、日本海学研究叢書として出版します。

(6) 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

環日本海地域の特定テーマ(日本海学推進機構と富山大学研究推進機構サステナビリティ国際研究センターが協議・選定)に関する同センターの調査研究活動に助成し、その成果を日本海学を通じて広く県民に普及します。令和6年度は「北東アジア沿岸生態系の保全と持続可能な資源利用」をテーマとした研究を実施します。

(7) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学の研究・普及活動の裾野を広げるため、地域に根ざした研究を行う個人・グループに対し、研究活動や論文の作成、講演会等に要する経費を助成します。



環日本海・東アジア諸国図(通称:「逆さ地図」)